

平成28年度

# 宗谷シーニックバイウェイ 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ		H28					報告年月日: 2017/3/31			
	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	H28				活動状況資料番号	総括		
			活動名	主催	活動実施日	参加人数				
景観	宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	①宗谷らしい景観や環境が体感できるポイントの創出と磨き上げ	浜頓別町道路景観の検討調査	稚内開発建設部 浜頓別町 宗谷シーニックバイウェイ	アンケート形式で調査を実施 平成29年2月17日~3月3日	18名		宗谷シーニックバイウェイの新たなエリアとして参加した浜頓別町の国道について道路景観の調査・検討を行うとともに、継続的に利尻の清掃を実施している。絶滅危惧種とされるイトウやオオワシなどが生息する地域であり、資源保全と観光による活用の両立を研究していきたい。		
		②地場産業との連携による景観・環境の保全	-							
		③景観を美しくみせ、環境を守る清掃活動	クリーンキャンペーン りしり	利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会 【協力協賛】利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所	平成28年5月20日	主催者 約 80名 一般参加 約 20名				
		④景観や環境を保全するルールづくり	-							
		⑤フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止と駆除活動	-							
		③おもてなしを演出する春・夏・秋の季節に応じた植栽活動	稚内空港線植樹帯維持活動	フラワーマスター稚内	平成28年6月4日	約150名				
	住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	④アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩の演出	彩北わっきゃナイト2017	稚内みなとまちづくり懇談会	平成29年2月11日	1,000名		SY - 5	わっきゃナイトや礼文リボンプロジェクト、利尻山コマドリプロジェクト等、旅行者と地域を繋ぐ取組みを継続的にしており、そのような仕組み等を他地域にも波及できるように、情報の共有等を進めていきたい。
			⑤流木を活用したプランターづくり	-	-	-	-			
			景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	浜頓別町道路景観の検討調査	稚内開発建設部 浜頓別町 宗谷シーニックバイウェイ	アンケート形式で調査を実施 平成29年2月17日~3月3日	18名			
			情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-						
			景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ	-						
			景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ	-						
			景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ	-						
			景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ	-						

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ							報告年月日: 2017/3/31	
	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	H28				活動状況資料番号	総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数		
環境		①住民と観光客が双方プラスになる宗谷エコレージなどのプログラムの推進	-					
			礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	通年	-	SY - 1	
			利尻山コマドリプロジェクト	利尻山登山道等維持管理連絡協議会	通年	-	SY - 2	
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-					
		②CO2を削減するシーニックの森等の植栽活動の推進	-					
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-					
			-					
			-					
			-					
環境	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	①宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	観光関係の若手による「しゃべり場」の開催	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、豊富町	平成28年11月9日	26名	SY - 7	継続的に開催しているしゃべり場では、観光のみならず次世代にどのように地域を残すかについても検討している。今後は、地域の教育機関等との連携について模索していく。
			-					
			-					
			-					
		②地域の将来を担う子供たちへの教育活動	-					
		③地域コミュニケーション形成のため、ボランティアの育成	-					
情報	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	①観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	ルート内情報発信事業	宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会	H28年5月27日～9月23日	毎週発行	SY - 6	ルート内の情報発信を継続的に実施しており。毎週、各地の旬な情報をとりまとめ宗谷シーニックとして発信している。旅行者にとって有益な情報発信となっているほか、ルート間の情報共有にも寄与している。
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-					
		⑤宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	-					
		④ルート及び情報発信場所における看板等の設置	-					
		②既存ツール(ネットやSNS)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信の充実	-					
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	ルート内情報発信事業	宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会	H28年5月27日～9月23日	毎週発行	SY - 7	
		③オンリーワンな情報発信内容・方法の提案	-					
	-							

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ		H28					報告年月日: 2017/3/31
ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括
		①空港やフェリーターミナルなどの宗谷の玄関口におけるおもてなしの演出	-				
宗谷の魅力(底力)を磨き上げ十分に提供できるおもてなしの育成	②宗谷らしさが体感できる参加型・体験型のメニューづくり	最北フラワーマラソン大会	最北フラワーマラソン大会実行委員会	平成28年6月4日	約230名		新たな観光として、道北版エコ・モビリティ事業を実施している、勉強会や社会実験、モニターツアーなど多岐にわたり、多様な活動を展開するとともに、天塩川流域ミュージアムパークウェイとの連携も強化され、道北地域全体の魅力の磨き上げ、おもてなしの充実に繋がっている。
		彩北わっキャナイト2016	稚内みなとまちづくり懇談会	平成29年2月11日	1,000名	SY - 5	
	④景観や環境が体感できるポイントの活用とルートづくり	-					
	-						
	-						
	-						
	-						
	-						
	-						
	-						
③物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	-						
	-						
-							

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 宗谷シーニックバイウェイ		H28					報告年月日: 2017/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	総括	
観光	⑤フットバスやサイクリングなど新たなツーリズム創出	道北版スイス・モビリティ関連事業 「宗谷版スイス・モビリティ検討会の開催」	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成28年6月17日 平成28年7月26日 平成29年3月15日	12名 7名 15名 <全34名>	SY - 8		
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「てっぺんツアーの実施」	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・道北版エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター	平成28年10月8日~10日	●モニター 10名 ●スタッフ 10名	SY - 9		
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」	宗谷シーニックバイウェイ・北海道エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター	平成28年9月27日	●モニター 10名 ●スタッフ 10名	SY - 10		
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「宮内忍氏を招聘した勉強会の開催」	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会 一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター	平成28年10月11日	20名	SY - 11		
		—						
		—						
	⑦外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	①分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のための静テムづくり	道北版スイス・モビリティ関連事業 「家田先生・高橋先生の試走」	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会、稚内開発建設部	平成28年8月20日	9名		SY - 12
			—					
			—					
			—					
			—					
			—					
情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化	②地域の課題を共有し解決策などを考える勉強会やシンポジウムの開催	観光関係の若手による「しゃべり場」の開催	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、豊富町	平成28年11月9日	26名	SY - 5	今年度は10周年を記念する年であり、勉強会や講演会などさまざまな取組みを実施した。今年度の取組みを活かし、次年度以降も連携強化に努めたい。	
		観光協会長サミット開催	北宗谷観光推進協議会 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	平成29年2月23日	10名			
		石田先生を招いての宗谷シーニックバイウェイ10周年記念講演	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・ルート運営行政連絡会議	平成29年2月23日	77名	SY - 13		
		広域観光周遊ルート ワークショップの開催	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・萌える天北オロロンルート・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・ルート運営行政連絡会議	平成29年2月24日	30名	SY - 14		
		石田先生の冬期資源視察	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・稚内開発建設部	平成29年2月24~26日	6名	SY - 15		
		—						
		—						
		—						
③地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり		—						



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：礼文島リボンプロジェクト

【概要】 礼文町の希少な自然環境の保全を主な目的として、「礼文島リボンプロジェクト」を平成23年度から行っている。ピンバッチを販売額の一部が、礼文島の自然活動に活用できる基金として積み立てられる取り組みで、27年度末までに約2,370万円が基金として積み立てられ、これまでに680万円が環境保護や利活用の活動に支出されている。

<http://www.town.rebun.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000202.html>

「ベスト・シーニックバイウエイズ・プロジェクト2011」ルート審査委員特別賞受賞

【日時】 通年で販売

【場所】 礼文島（観光案内所などで販売）

【主催】 礼文島観光協会



フェリーターミナル内でルート情報と共に告知



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻山コマドリプロジェクト



←利尻山コマドリプロジェクト  
ポスター

↓応援ピンバッジ



【概要】近年、利尻山の登山者の増加や降雨の影響などで登山道の荒廃が目立ち始めており、その問題の対策として、平成26年より、山に棲む鳥として象徴的なコマドリがデザインされた応援ピンバッジ（1個1,000円）を島内各所で販売することで、購入者自身に山の保全意識を啓発するとともに、登山道の補修や登山マナーの普及などの活動財源確保に取り組んでいる。

【日時】通年で販売  
【場所】利尻島（観光案内所などで販売）  
【主催】利尻山登山道等維持管理連絡協議会



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：稚内空港線植樹帯維持活動

- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いしている。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。
- 【日時】 平成28年6月4日（土） 10:00～
- 【場所】 道道稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、稚内のみなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか
- 【参加人数】 150名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：かまくらで遊ぼう

- 【概要】 冬レンジャーの催しとして、高さ2㍎、2畳ほどの広さのかまくらを2基作り、その中で親子が豚汁を食べたり、雪の上で玉入れや雪中綱引きなどゲームを行った。
- 【日時】 平成28年2月7日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場・駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約380名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：彩北わっきゃナイト2017

- 【概要】今年で14年目となる冬のイベント。北の防波堤ドームを約600個のキャンドルで彩り、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わっかない氷雪の広場』との同一会場で開催し、稚内の冬を演出した。
- 【日時】平成29年2月11日（土） 13:00～21:00
- 【場所】稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など
- 【参加人数】1,000名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：ルート内情報発信事業

- 【概要】 稚内市・利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町の観光協会・観光案内所が連携し、花などの見ごろからウニなど食など、「今しかない」情報を週1回発信している。本事業はルート発足当初から継続的に実施しており、過去にはベスト・プロジェクト審査委員特別賞の受賞し、近年は、SNS (twitter、Facebook) も活用し、情報発信を行っている。
- 【日時】 平成28年5月27日 (金)～9月23日 (金) の毎週金曜日・週一回の発信
- 【場所】 ルート内各観光協会から情報をメールまたはFAX→集約→関係者・団体へ
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会  
稚内・利尻富士町・利尻町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町 各観光協会

毎週金曜更新！ 週刊 宗谷シーニックバイウェイ 夏のルート内情報 平成28年9月9日号

**礼文島** 情報発信: 礼文島観光協会 TEL:0152-24-2915

**稚内市** 情報発信: 稚内市観光協会 TEL:0142-24-1216

**利尻島** 情報発信: 利尻島観光協会 TEL:0143-82-1114

**豊富町** 情報発信: 豊富町観光協会 TEL:0142-82-1718

**猿払村** 情報発信: 猿払村観光協会 TEL:0143-2-2211

**浜頓別町** 情報発信: 浜頓別町観光協会 TEL:0143-2-2918

ただいま見頃の お花たち

- ノコギリソウ
- ナガボシロフ
- キク科
- レモコウ
- エゾゴマナ
- ツリガネニンジン
- キキョウ科

この情報はFacebookでもご覧いただけます  
www.facebook.com/soyabw.routeinfo

次の更新は 9月16日です

毎週金曜更新！ 週刊 宗谷シーニックバイウェイ 夏のルート内情報 平成28年6月3日号

**礼文島** 情報発信: 礼文島観光協会 TEL:0152-24-2915

**稚内市** 情報発信: 稚内市観光協会 TEL:0142-24-1216

**利尻島** 情報発信: 利尻島観光協会 TEL:0143-82-1114

**豊富町** 情報発信: 豊富町観光協会 TEL:0142-82-1718

**猿払村** 情報発信: 猿払村観光協会 TEL:0143-2-2211

**浜頓別町** 情報発信: 浜頓別町観光協会 TEL:0143-2-2918

ただいま見頃の お花たち

- レナンアツモリソウ
- ワタスゲ
- ラン科
- カヤツリガサ科
- ランサンチドリ
- シロジョウバカマ
- ラン科
- ユリ科

この情報はFacebookでもご覧いただけます  
www.facebook.com/soyabw.routeinfo

次の更新は 6月10日です

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：観光関係の若手による「しゃべり場」の開催

- 【概要】 宗谷地域に観光に関わる若手が集まり、地域のこれからや観光のあり方について自由に意見を交わす「しゃべり場」を豊富町で開催した。湯治で新たな脚光を浴びている豊富町関係者を交え、ワークショップを開催した。
- 【日時】 平成28年11月9日
- 【場所】 豊富町 ニュー温泉閣ホテル
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート代表者会議・豊富町
- 【参加人数】 26名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版エコ・モビリティ関連事業  
「宗谷版エコ・モビリティ検討会の開催」

- 【概要】 自転車やカヌー、歩きと公共交通を組合わせて周遊観光を楽しむ、エコ・モビリティについて、宗谷シーニック関係者の検討会を開催した。宗谷シーニックでは、モデル地区を利尻島としており、各種取組みに向けた検討等を行った。
- 【日時】 平成28年6月17日 稚内サンホテル  
平成28年7月26日 利尻富士町役場  
平成29年3月15日 利尻富士町役場
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版エコ・モビリティ関連事業  
「てっぺんツアーの実施」

- 【概要】 天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、旭川空港から宗谷岬までのてっぺんロングライドツアーを実施した。全国からモニター10名を集め、うち台湾からは4名のモニターが参加し、2泊3日の行程で行った。
- 【日時】 平成28年10月8日～10日
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・道北版エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】 ●モニター 10名／●スタッフ 10名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版エコ・モビリティ関連事業  
「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」

- 【概要】 跡見学園女子大学と連携し、レンタサイクルと路線バスを組み合わせ、利尻島を1周する観光について実証実験を行った。跡見学園の学生10名がモニターとなり、実証実験を行い、実験の様子はNHKの取材が入り、全道版のニュースで放映された。
- 【日時】 平成28年9月27日
- 【場所】 利尻島
- 【実施主体】 利尻富士町・利尻町・北海道運輸局・宗谷シーニックバイウェイ・北海道エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター
- 【参加人数】 ●モニター 10名／●スタッフ 10名





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「宮内忍氏を招聘した勉強会の開催」

- 【概要】 自転車の専門誌「サイクルスポーツ」の元編集長の宮内氏を招き、サイクルツーリズムの勉強会を開催した。勉強会には、シーニック関係者の他、天塩川流域ミュージアムパークウェイ関係者、宗谷総合振興局など多数の方が参加し、道北におけるサイクルツーリズムの可能性について勉強した。
- 【日時】 平成28年10月11日
- 【場所】 キタカラ 会議室
- 【主催】 天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター
- 【参加人数】 20名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「家田先生・高橋先生の試走」

- 【概要】 日本国内にてサイクリストの聖地と呼ばれる「しまなみ海道」に、天塩川流域ミュージアムパークウェイの関係者、北海道版スイス・モビリティ研究会のメンバーとともに視察を行い、サイクルツーリズム先進地の受入環境や課題について調査を行った。
- 【日時】 平成28年8月20日
- 【場所】 国道40号等
- 【主催】 天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会・稚内開発建設部
- 【参加人数】 9名



国道40号更喜苔内の副道を試走



北海道命名の地を視察

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：石田先生を招いての宗谷シーニックバイウェイ  
10周年記念講演

- 【概要】 宗谷シーニックバイウェイが指定ルートとなり、10年を迎えること記念の年として、シーニックバイウェイ審査委員の石田教授を招聘し、10周年の記念講演を行った。広域観光周ルートに認定されたこともあり、インバウンドを含めた宗谷シーニックバイウェイのあり方について学ぶことが出来た。
- 【日時】 平成29年2月23日
- 【場所】 稚内サンホテル 会議室
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・ルート運営行政連絡会議
- 【参加人数】 77名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：広域観光周遊ルート ワークショップの開催

- 【概要】今年度、「日本のでっぺん。きた北海道ルート」が広域観光周遊ルートとして認定されたことをきっかけに、関係する3つのシーニックバイウェイルートが中心となり、広域観光周遊ルートとしてインバウンドを推進する方策や地域のあり方についてワークショップ形式で検討を行った。
- 【日時】平成29年2月24日
- 【場所】稚内サンホテル
- 【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・萌える天北オロロンルート・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・ルート運営行政連絡会議
- 【参加人数】30名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：石田先生の冬期資源視察

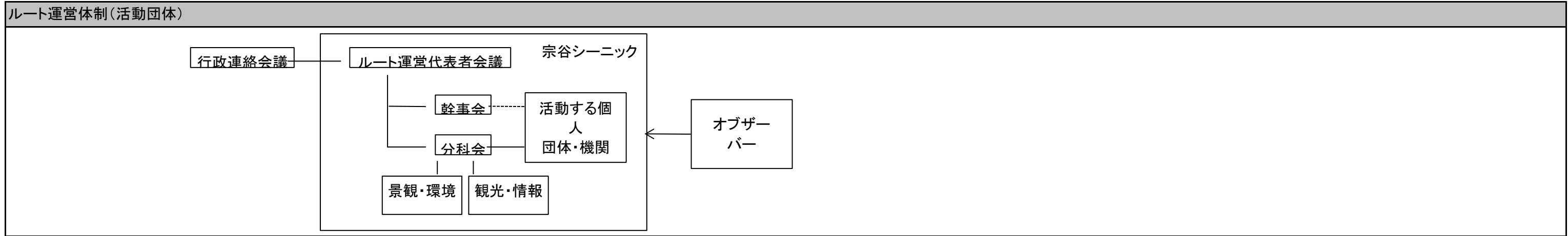
- 【概要】 広域観光周遊ルートにて、きた北海道の「課題」となっている冬期観光について、有識者に現地を見てもらうため、石田教授を招聘した。視察は、稚内市の犬ぞり大会の他、浜頓別町のオオワシ、豊富温泉等、宗谷地域の冬ならではの資源について視察頂き、助言を頂いた。
- 【日時】 平成29年2月24～26日
- 【場所】 稚内市・浜頓別町・豊富町
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・稚内開発建設部
- 【参加人数】 9名



3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックパイウェイ	報告者:宗谷シーニックパイウェイ代表 中場 直見	報告年月:2017/3/31
--------------------	--------------------------	----------------

<p>活動団体</p> <p>NPO法人映像コミュニティ・ムーブユー／猿払イトウの会／宗谷建設青年会／未来のくらしと宗谷路(ネットワーク)を考える会／利尻島を考える会／利尻富士町宿泊業組合／稚内観光協会青年部／稚内商工会議所／稚内青年会議所／稚内のみなとを考える女性ネットワーク／稚内ホテル旅館業組合／稚内みなとまちづくり懇談会／フラワーマスター稚内／稚内市歴史・まち研究会／稚内観光協会／豊富町観光協会／猿払村観光協会／利尻富士町観光協会／利尻町観光協会／礼文島観光協会／宗谷バス株式会社／ハートランドフェリー株式会社／NPO法人 クッチャロ湖エコワーカーズ／浜頓別町観光協会／浜頓別町商工会 (計25団体)</p>
---



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議	●代表者会議 4/13		●石田先生 宗谷SBW10 周年講演会 6/29								●石田先生 冬季視察 2/22-26 ●広域観光 WS 2/23		今年度、宗谷シーニックパイウェイが10周年を迎えたため、各種記念講演会等を開催するとともに、広域観光周遊ルートが認定されたこともあり、検討会・ワークショップ等を開催した。広域観光周遊ルート等をきっかけに、ルート間の連携を強化していきたい。
幹事会										●幹事会 1/26			
宗谷版スイスモビリティ検討会			●道北会議 6/17	●利尻島打合せ 7/26	●家田先生・高橋先生試走 8/20	●利尻島実験 9/27	●てっぺんツアー 10/8~10 ●宮内氏勉強会・利尻視察 10/11~12					●利尻島次年度打合せ 3/15	
地域の若手を中心としたワークショップ(しゃべり場)									●豊富 11/9				
その他		●イトウの会シンポジウム 5/2			●礼文発掘現場視察 8/10-11								

ルート名称:宗谷シーニックパイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2017/3/31
--------------------	-------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施													平成28年度は未実施 (日程調整が付かなかったため)

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:稚内開発建設部		報告年月:2017/3/31			
ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
景観	宗谷の景観と環境を守り育てることで、他地域との差別化を図る	稚内空港線植樹帯維持活動	平成28年6月4日	(協力協賛)宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、稚内のみなとを考える女性ネットワーク、一般市民ほか	稚内空港線(稚内空港前)の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いし、参加団体は本年は20団体が参加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。	道路の清掃や植樹帯の管理などおもてなしの取組みを継続的に実施し、さらに浜頓別町では地域と協働による道路景観の調査・検討を行った。宗谷らしい景観を守り育てることを目的に、活動の広域化・さらなる継続化を目指して地域への支援等を検討していきたい。	SY-5
		彩北わっキャナイト2016	平成29年2月11日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など	今年で14年目となる冬のイベント。北の防波堤ドームを約600個のキャンドルで彩り、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わっかない氷雪の広場』との同一会場で開催し、稚内の冬を演出した。		
		浜頓別町道路景観の検討調査	アンケート形式で調査を実施 平成29年2月17日～3月3日	稚内開発建設部・浜頓別町・宗谷シーニックバイウェイ	平成27年度から参加している浜頓別町の国道の道路景観について、シーニック参加団体等と調査・検討を行っている。昨年度は、国道238号を実施し、今年度は国道275号についてアンケート形式で、道路の景観診断を行った。		
環境		クリーンキャンペーン リシリ	平成28年5月20日	利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会【協力協賛】利尻町観光協会	利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃(ゴミ拾い)を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。		
情報		観光関係の若手による「しゃべり場」の開催	平成28年11月9日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、豊富町	宗谷地域に観光に関わる若手が集まり、地域のこれからや観光のあり方について自由に意見を交わす「しゃべり場」を豊富町で開催した。湯治で新たな脚光を浴びている豊富町関係者を交え、ワークショップを開催した。		SY-7
		ルート内情報発信事業	平成28年5月27日～9月23日	宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会、稚内・利尻富士町・利尻町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町 各観光協会	稚内市・利尻町・利尻富士町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町の観光協会・観光案内所が連携し、花などの見ごろからウニなど食など、「今しかない」情報を週1回発信している。本事業はルート発足当初から継続的に実施しており、過去にはベスト・プロジェクト審査委員特別賞の受賞し、近年は、SNS(twitter、Facebook)も活用し、情報発信を行っている。		SY-6
		彩北わっキャナイト2016	平成29年2月11日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など	今年で14年目となる冬のイベント。北の防波堤ドームを約600個のキャンドルで彩り、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わっかない氷雪の広場』との同一会場で開催し、稚内の冬を演出した。		SY-5
		道北版エコ・モビリティ関連事業「宗谷版エコ・モビリティ検討会の開催」	平成28年6月17日 平成28年7月26日 平成29年3月15日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	自転車やカヌー、歩きと公共交通を組合わせて周遊観光を楽しむ、エコ・モビリティについて、宗谷シーニック関係者の検討会を開催した。宗谷シーニックでは、モデル地区を利尻島としており、各種取組みに向けた検討等を行った。		SY-8
		道北版エコ・モビリティ関連事業「てっぺんツアーの実施」	平成28年10月8日～10日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・道北版エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター	天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、旭川空港から宗谷岬までのてっぺんロングライドツアーを実施した。全国からモニター10名を集め、うち台湾からは4名のモニターが参加し、2泊3日の行程で行った。		SY-9

ルート(エリア)運営活動計画方針		平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光	宗谷に関する情報をつなぎ、あたたかいおもてなしを提供する	道北版エコ・モビリティ関連事業 「利尻島での自転車・バスの周遊観光実験」	平成28年9月27日	宗谷シーニックバイウェイ・北海道エコ・モビリティ研究会、一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター・利尻町・利尻富士町	跡見学園女子大学と連携し、レンタサイクルと路線バスを組み合わせ、利尻島を1周する観光について実証実験を行った。跡見学園の学生10名がモニターとなり、実証実験を行い、実験の様子はNHKの取材が入り、全道版のニュースで放映された。	道路空間を活用し自転車の取組み等が地域では広がりを見せていることから、行政連絡会議としても地域との連携・支援を強化して行く。また、今年度は10周年ということもあり、様々な勉強会やセミナー、ワークショップを開催したが、その結果を活用し、次年度以降の取組みに繋げて行くように、地域協働を推進する。	SY-10
		道北版エコ・モビリティ関連事業 「宮内忍氏を招聘した勉強会の開催」	平成28年10月11日	宗谷シーニックバイウェイ・天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会 一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター	自転車の専門誌「サイクルスポーツ」の元編集長の宮内氏を招き、サイクルツーリズムの勉強会を開催した。勉強会には、シーニック関係者の他、天塩川流域ミュージアムパークウェイ関係者、宗谷総合振興局など多数の方が参加し、道北におけるサイクルツーリズムの可能性について勉強した。		SY-11
		道北版エコ・モビリティ関連事業 「家田先生・高橋先生の試走」	平成28年8月20日	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道エコ・モビリティ研究会、稚内開発建設部	東京大学 家田教授、北見工業大学 高橋教授の交通を専門とする教授2名を招聘し、道北のサイクリングコースについて試走して頂き、自転車受入環境の課題やあり方などについて助言を頂いた。		SY-12
		石田先生を招いての宗谷シーニックバイウェイ10周年記念講演	平成29年2月23日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・ルート運営行政連絡会議	宗谷シーニックバイウェイが指定ルートとなり、10年を迎えること記念の年として、シーニックバイウェイ審査委員の石田教授を招聘し、10周年の記念講演を行った。広域観光周ルートに認定されたこともあり、インバウンドを含めた宗谷シーニックバイウェイのあり方について学ぶことが出来た。		SY-13
		広域観光周遊ルート ワークショップの開催	平成29年2月24日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・萌える天北オロロンルート・天塩川流域ミュージアムパークウェイ・ルート運営行政連絡会議	今年度、「日本のてっぺん。きた北海道ルート」が広域観光周ルートとして認定されたことをきっかけに、関係する3つのシーニックバイウェイルートが中心となり、広域観光周遊ルートとしてインバウンドを推進する方策や地域のあり方についてワークショップ形式で検討を行った。		SY-14
		石田先生の冬期資源視察	平成29年2月24～26日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議・稚内開発建設部	広域観光周遊ルートにて、きた北海道の「課題」となっている冬期観光について、有識者に現地を見てもらうため、石田教授を招聘した。視察は、稚内市の犬ぞり大会の他、浜頓別町のオオワシ、豊富温泉等、宗谷地域の冬ならではの資源について視察頂き、助言を頂いた。		SY-15
		2016 WAKKANAI みなとコンサート	平成28年7月17日	(共催)稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー	北海道遺産にも指定されている歴史的建造物「北防波堤ドーム」の活用として、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内について活力をあたえることを目的に、住民主体の音楽会を開催した。		
		かまくらで遊ぼう	平成29年2月5日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他	冬のイベントとして、大きなかまくらを作成し、かまくらを中心に冬の遊びを楽しむイベントを開催した。当日は、多くの親子連れが参加し、厳冬の稚内を楽しんだ。		